

早稲田大学 国語教育研究

第 19 集

〈論文〉	表現指導の戦略……………町田守弘(1)
——いかに表現させるか——	
「相互交流のコミュニケーション」を学ぶための、	
国語科の学習指導のあり方……………有元秀文(13)	
「ますらをぶり」と「たをやめぶり」……………土佐秀里(23)	
——古典和歌の指導のために——	
漢詩教材「音読」の理論と効用……………中村佳文(33)	
——授業多様化のための一試論——	
明治・大正期の漢文科存廃論争とその意義……………石毛慎一(44)	
——国体論の視点から——	
大正期国語国字問題と「国語教育」へ文学……………古家敏亮(53)	
——国定教科書と第二次「早稲田文学」を手掛かりに——	
新制中学校発足期の古典教育……………岩崎 淳(64)	
——「中等国語」の古文教材——	
〈実践報告〉	
「視点」「観点」を増やす指導……………黒川孝広(73)	
——授業「象を冷蔵庫に入れる方法」の実践報告——	
説明的文章教材の基本的指導過程……………井上敬夫(83)	
——論理構造の把握から表現活動まで——	
〈現場からの報告〉	
……………和田 朗・松本和博・根岸一成・横堀利明(88)	
〈書評・紹介〉	
大平浩哉編『国語教育史に学ぶ』……………田近洵一(94)	
堀切実編『『おくのほそ道』と古典教育』……………佐藤勝明(97)	
『市毛勝雄著作集』……………小泉尚子(100)	

◎一九九八年度活動記録

1999年 3 月
早稲田大学国語教育学会